

防災問題と庁舎位置は

防災一辺倒ではできない

ではないか。

答 大西町長

町づくりには色々な観点のもと、利便性や機能面等もあり、防災一辺倒では行かず、これらのすべてを庁舎位置が左右する問題ではない。

庁舎候補地であるスケン谷は、非常時に職員の集合や情報収集が可能であり、バイクが近くを通り避難路の効果もある。

問 東日本大震災の大津波は私達に南三陸町や大槌町、陸前高田市の様に町並みが消え、悲惨な被災者を出さない町づくりを教えてください。明日は我が身とならないために、将来高規格道路が予想される国営農地の丘陵地帯に庁舎移転をすれば、新しい町づくりの基となる千載一遇の機会ではなからうか。

東北の被災地が取り組んでいる町ごと高台への移転を、30年先取りしてこそ人災を避け人の命を大事にする政治

問 機構改革による財政再建で新しい都市づくりの橋下市長の「都構想」は、知事当分のもの。明治の年間予算2千万円と同額の築港事業に匹敵する都市づくりが出来るか否かだが、どう思うか。

答 大西町長

しがらみや既成概念にとらわれない突破力、情報発信能力は特筆すべきだが、地域政党を立ち上げ、議会の主導権をとる政治手法は、二元代表制の地方議会として適当かどうか判断が難しい。

環境問題	
放射線と	エコエネルギー
数値は問題ない	

問 福島では放射能汚染が魚や野菜、安全と言っていた米にも出た。近海の戻りカツオにもセシウムがわずかだが出た。

学校給食材料の検査は、医師であった菅谷松本市長のチエルノブイリの子どもの甲状腺の話を聞くと、計測を他人任せで良いだろうか。

答 大西町長

県衛生研究所の調査で放射

能は正常な数値だったため、町独自では必要ないと判断している。カツオの放射能の数値も基準以下だが今後も注視はしていく。

問 エコエネルギー問題

で太陽光や小型水力による発電を梶原町でもやっている。佐賀馬路地区には「雨水の防災対策」と「小型水力発電装置設置」の可能な場所が数カ所ある。一石二鳥の効果があるが検討してはどうか。

答 大西町長

小水力の利用促進協議会に来て貰い調査をしたが、詳細については詰めと見ないと分からないとの事で、調査内容を持ち帰っていただいた。



その他の質問

※TTPPについて。
※カツオフォーラムについて。